

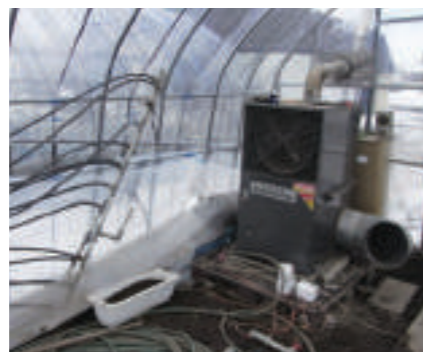
ホッカーテンの保温効果確認試験

JAよいち

川合 一



ホッカーテンを側ビニール内側に設置(パッカー止め)



送風機



ホッカーテンに送風されている



ミニトマト育苗

試験目的

ホッカーテンの保温効果の検証

試験作物 及び品種

ミニトマト

試験資材 及び数量(規格)

ホッカーテン

慣行資材

側ビニール(二枚掛け)

資材使用期間

2月下旬～3月

試験区面積

240㎡ (6m×40mハウス)

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

ハウスの側をパッカーで留めていき、アルミダクトを設置する作業は2時間かからずに行うことが出来た。今までは側ビニールを2枚留めていたが、作業性にほとんど差は感じなかった。ハウスの角に、ホッカーテンを留める時はコツが必要である。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

作物の生育について、ホッカーテンとビニールで差は感じなかった。

(3)栽培管理上の優位点について

夜間の保温効果が若干高く感じた。灯油の消費量も若干抑えられた。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

側ビニールとの強度差他に差は感じなかった。

(5)保温効果について

夜間～朝にかけての保温性はホッカーテンの方が良く、燃料の節約に繋がると思う。

モニター感想

設置も簡単で保温効果が高いため灯油の節約が出来た。巻上を使わずに設置し、換気は手動で行った。巻上を設置していた時はそこに隙間が出来ており、そこから外気が入り温度が下がるといったこともあったので、巻上を使わずにホッカーテンを設置すると、密閉性が高くなり、より保温効果が高まると思う。

JA担当者の感想(前田係長)

保温性が高く、灯油の節減に繋がった。ミニトマト以外のハウス栽培作物にも使用でき、資材代のコスト低減がなされれば、広く普及することは可能だと思う。

今後の使用について

継続して使用したい。
ビニールに比べて保温性が高く、設置も簡単だったのでほぼ期待通りの効果があったと思う。次年度も使用したい。

将来希望する資材について

0.075mm厚でも0.1mm以上の強度を有する等、薄厚で強度の高いビニールまたは農POがあればコスト低減に繋がると思う。

1 クリント

2 高温対策

3 害虫忌避効果

4 滑雪効果

5 生分解性マルチ

6 その他

7 酪農資材